

# 2023 部落問題資料研究会連続学習会

## “知ってまっか大阪の部落史”のご案内

近年の部落史研究の目覚ましい発展により、全国各地の部落史に共通する部分と各地域の部落史に固有の部分が存在することがますます明らかにされてきました。たとえば、東北の弘前藩領では斃牛馬の皮革処理を百姓もやっていて、かわたは差別の対象であっても、隔離されるべき存在ではなく、かわたと百姓の婚姻関係もみられたことが指摘されています（東日本部落解放研究所編『東日本の部落史Ⅱ東北・甲信越編』30～31頁）。また、同じ伊勢地域でも、神戸(かんべ)藩には「非人」身分は存在していてもかわた身分は存在していませんし、逆に武蔵の忍(おし)藩の飛び地にはかわた身分は存在しても「非人」身分は存在していないことが明らかにされています（部落問題研究所編『部落の歴史 近畿篇』282～3頁）。このように部落史のありようは、地域によって大きく異なります。今後、部落史の理解においては、こうした地域の部落史の独自性と、なおかつ全国的に共通するところをしっかりとおさえることがますます重要になってきています。

では、大阪の部落史はどのようなのでしょうか？

本連続学習会では、大阪という地域の部落史を具体的に掘り下げながら、大阪的な独自性とかつ全国的な共通性を明らかにしていきたいと思えます。幸い大阪では1995年4月から編纂委員会が組織され、14年間という歳月をかけて2009年3月に『大阪の部落史』史料編9巻・本文編1巻が完成しています。

しかし、その優れた研究成果が、残念ながら多くの市民に十分知られているとは言いがたい状況があります。また、編纂過程で発掘された貴重な史料およびそれまでに部落解放運動関係団体や研究機関が収集してきた膨大な史資料が各所に保管され、研究者のみならず市民の閲覧利用には生かされていないという状況もあります。

そこで、本部落問題資料研究会は、先に述べた課題意識をもって、大阪の部落史編纂事業に関わった方々をお招きして、その貴重な研究成果を市民に還元するとともに、貴重な史資料の存在と活用の意義を理解していただくために、本連続学習会を企画した次第です。学校教育における部落史学習指導の一層の推進や社会啓発における部落史の理解の深化に役立てていただくことを切に期待しています。

### 第1回学習会 2023年12月16日(土) 13:30～17:00

#### 多彩に生きた前近代大阪の部落の人びと

報告：寺木伸明（桃山学院大学名誉教授）

『大阪の部落史』前近代編の特徴は、第1に、考古学、特に動物考古学の成果を盛り込んだことです。そのことにより古代における牛馬渡来の状況と古代の牛馬観、中世における牛馬解体や骨細工の状況などがわかってきました。第2に、かわた身分だけではなく、「非人」身分や三昧聖など、多様な被差別民も積極的にとりあげていることです。第3に、たえず被差別民を全体の社会構造の中に位置付けたうえ、時代的変化を解明していることです。そうした特徴を踏まえて、他地域の部落史とも比較しつつ、大阪の前近代部落史の特徴と具体像を紹介します。あわせて編纂過程で収集された数多くの史資料の内容とその意義についてもお話しします。

### 第2回学習会 2024年2月23日(金) 13:30～17:00

#### たくましく生きてきた近現代大阪の部落の人びと

報告：吉村智博（大阪公立大学客員研究員）

近現代大阪の部落史はどのような特徴があるのでしょうか。部落以外のマイノリティコミュニティとはどのような関係にあったのでしょうか。また、他の府県の部落との類似や相違はどのような点にあるのでしょうか。それは、大阪が主要都市として成長・発展していくなかで、どのような意味をもっていたのか。「解放令」「自由民権運動」「大正デモクラシー」「水平運動」「融和運動」「戦後改革」など主要な歴史の節目を取り上げて、テーマごとに具体的な資料をみながらお話ししたいと思います。『大阪の部落史』の近現代編(第4巻～第8巻)を活用して、どのような部落史像が描けるのかを一緒に考えてみたいと思います。

●参加方法：会場参加、オンライン（Zoom）参加のどちらの場合も、メールなどでの事前連絡をお願いします。

○会場参加……各回 1,500 円(資料代・会場費込み) 当日会場でお支払いください。

\*事前申し込み（30 人限定）を優先しますが、当日に空きがあれば参加は可能です。

○オンライン（Zoom）参加……各回 1,000 円(資料代込み) URL や資料を送るためのメールアドレスを知らせてください。参加費は、銀行振り込みでお願いします（後日払いも可能です）。

申込用メールアドレス



メール [burakushiryou.kenkyu@gmail.com](mailto:burakushiryou.kenkyu@gmail.com)

振込先：りそな銀行 島本支店（店番 243） 普通 0155115

部落問題資料研究会（ブラクモンダイシリョウケンキュウカイ）

●会場：テクラレーションビル 3 階研修室  
（大阪市浪速区浪速東 3-9-19）

●主催：部落問題資料研究会（代表・寺木伸明）

後援：大阪市人権・同和教育研究会

浪速地区歴史展示室

部落解放同盟大阪府連合会

大阪人権博物館（リバティおおさか）

全国大学同和教育研究協議会

全国部落史研究会



●お問合せ先：部落問題資料研究会

（大阪市浪速区芦原ステーションビル）

[burakushiryou.kenkyu@gmail.com](mailto:burakushiryou.kenkyu@gmail.com)

090-4292-4034（増井）

### 部落問題資料研究会とは？

本研究会は、「部落問題関係資料を集中保管し、閲覧利用に供する施設の実現」（会則第2条）をめざすことを目的に、2021年7月15日に結成され、会則第4条に基づいて以下のような事業を行っています。

1. 部落問題学習の内容・方法の研究ならびに実践の交流
2. 研究会の開催
3. 部落問題に関する資料を集中保管し、閲覧利用に供する施設を設置するための調査・研究
4. 関係機関・団体との連絡調整など

そのため大阪人権博物館や部落解放・人権研究所など「目的意識を共有する人たち」と広く協議の場を設け、連携しながら実現していきます。2021年度には、4回研究会を企画し2回実施したのですが、本研究会運営委員会内部でパワハラ問題が起こったため、研究会を中止しました。本研究会運営委員会は、この問題を真摯に受け止め2年間にわたって協議を重ね、パワハラなど人権侵害行為の防止のため、会則改正、パワハラ防止規程などを作成し、再発防止に向けて新たな体制を整えてまいりました。そして、被害者の理解を得て、改めて連続学習会を開催して再出発をすることにいたしました。ただしパワハラの行為者が退会してしまい、いまだ謝罪が行われていません。本会としては誠実な謝罪がなされ、本件が早急に解決されることを望んでいます。

今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げますとともに、冒頭に申し上げたように、各所に散在する貴重な史料、資料、文献等を一同に集めた「部落問題資料室」（仮称）を開設するという大きな目的を実現するために、仲間としてぜひ会員に加わってくださり、ともに取り組んでくださることを切望しています。